



教育とウェルビーイング④

子ども達は幸せな気持ちを感じている？

全国学力・学習状況調査の質問紙調査から垣間見える現状

小学校6年生、中学校3年生を対象に4月に実施される「全国学力・学習状況調査」では、教科に関するテスト形式の調査のほか、「質問紙調査」として、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査が行われています。

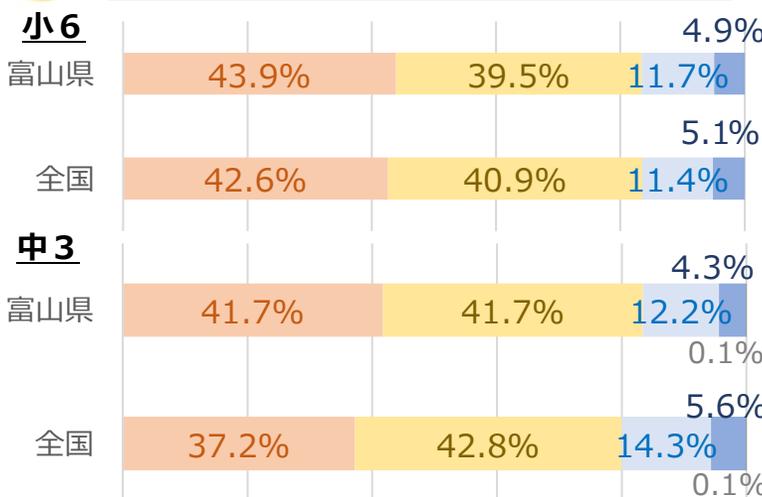
その中には、「自分には、よいところがあると思う」という、自分らしさ・自己肯定感に関するものや、「人が困っているときは、進んで助けている」のような思いやり・利他意識に関するもの、「将来の夢や目標を持っている」という生きがい・希望に関するものなど、個々の意識への設問が様々含まれています。

令和5年度には、新たに「**普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。**」という、幸せの実感をストレートに聞く設問が加わりました。

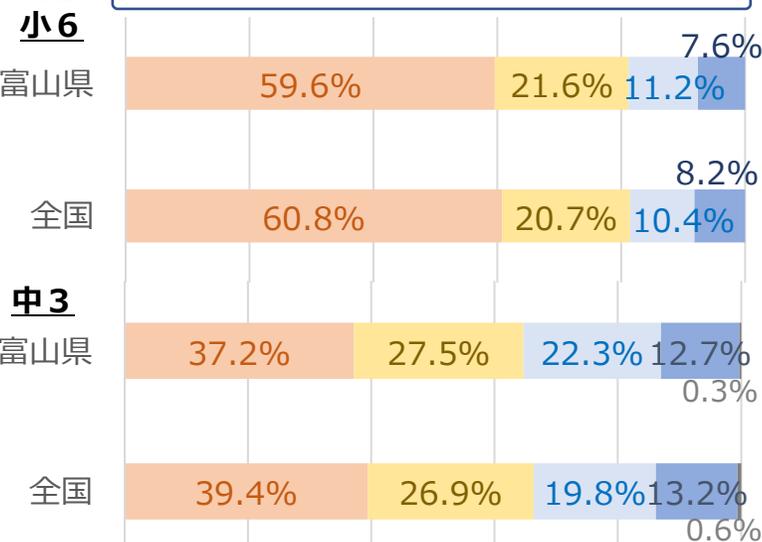
教科ごとの都道府県別全国順位など、学力の面に目が向きがちですが、子どもの意識を探る貴重な質問紙調査にも注目です。



①自分には、よいところがあると思いますか



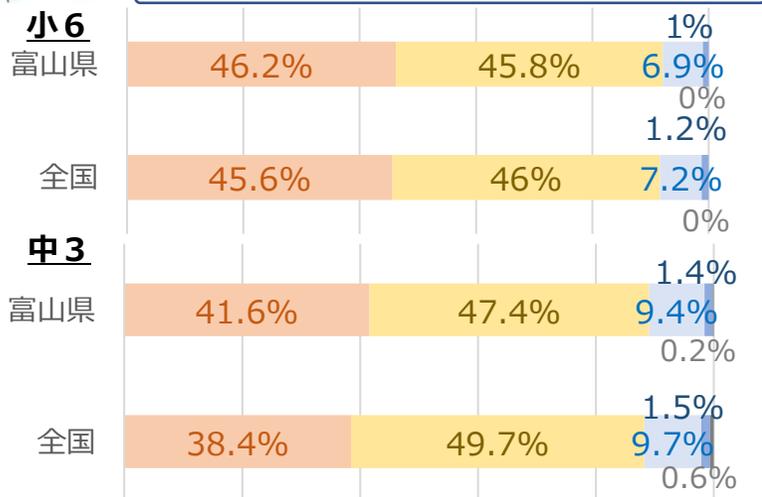
③将来の夢や目標を持っていますか



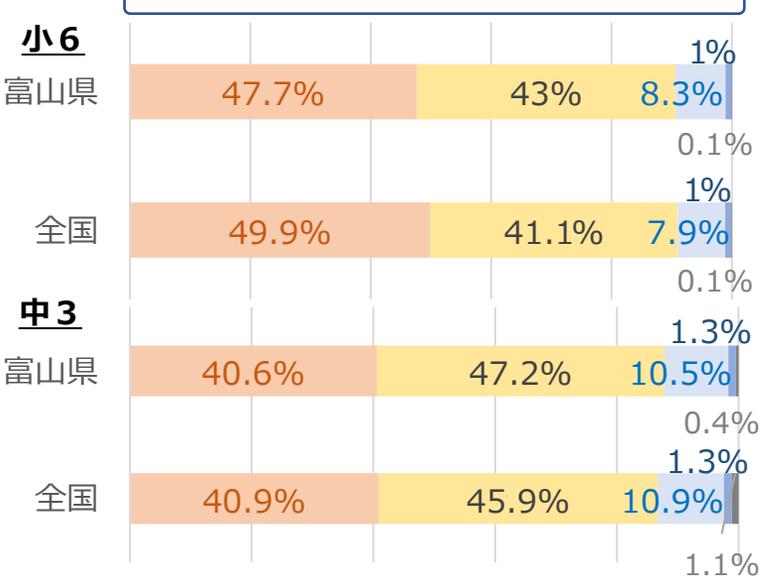
① 当てはまる (オレンジ), どちらかといえば、当てはまる (黄色)
 ② どちらかといえば、当てはまらない (薄青), 当てはまらない (青), 無回答・その他 (グレー)



②人が困っている時は進んで助けていますか



④普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



④ よくある (オレンジ), ときどきある (黄色), あまりない (薄青), 全くない (青), 無回答 (グレー)